

# ディスカバリー型 職場見学とは

- 【特徴】**
- 学校に様々な役割(係)があるように、世の中にはいろいろな役割や責任を持って働いている人がいることを発見(ディスカバリー)するプログラムが必要。
  - 低・中・高学年と成長が著しく、仕事に対する興味・関心が大切な時期。プログラムに体験活動などを取り入れることで、児童の関心がより高まります。

受け入れの際の心得  
リーダー

社員を代表し、児童が憧れる大人の存在として立ち振る舞うことで  
**仕事理解が深まり説明スキルが向上**

担当者(リーダー)は児童の学習状況を確認し、学校が求める学習のねらいを踏まえながらプログラムを構築します。クラス運営やその場の仕切りは学校の先生に任せ、仕事を伝えることに専念しましょう。

**児童が分かるように仕事を語ることで、**

仕事内容を正確に伝え直す機会となり、プレゼンテーション力の育成にもつながります。

なお、「仕事人」に徹し、児童の「友達」にならないような注意が必要です。

## 【受け入れ担当になったら】

### 関わり方のポイント①

#### 「一生懸命な姿をみせる」

児童に負けない明るく、元気な姿が大切。仕事の(大変なことを乗り越えた)やりがいや楽しさ、一生懸命な姿を示し、憧れとなるような大人を目指しましょう。スマートである必要はなく、大人の一生懸命な姿に児童は感動します。なお、命やケガにつながることは、厳しく注意しますが、それ以外はできるだけ優しく接しましょう。厳しく接すると大人を怖い存在として受け止めてしまいます。

### 関わり方のポイント②

#### 「発見(気づき)を与える」

児童によっては長時間話を聞くことが苦手な場合もあります。より多くの気づきを提供するために、注目を集めるための仕掛けをいれましょう。物に触れさせる、作らせる、体験させる、クイズを取り入れるなど、ゲーム感覚で考える機会を工夫することで、興味・関心が引き出せます。また、プログラムにメリハリが付き、児童の集中力が持続しやすくなります。

### 関わり方のポイント③

#### 「伝え方を工夫する」

児童の発達段階を確認し、それに合わせた言葉や表現を使ってください。例え話や比較をするなど(25mプール何個分等)、難しい表現を児童が理解しやすくすることで、企業や業務の振り返りの機会となります。特に低学年には、ゆっくりと大きな声で話し、熟語は極力使わないようにしましょう。「観察する」→「見る」など簡単な表現を使ってください。中学年以上の場合は、特に授業の段階を確認しておくといでしょう。

## 流れを知ろう 職場見学(工場見学)

### 見学例(45分版)

学校から依頼を受けた際、安全性を考え、断わる企業もあるかもしれませんが、積極的に取り組んでいる企業もあります。プラスチック、スポンジ、アルミニウム、鉄鋼、コイルやモーターなどの製造業では、地元の小学校からの依頼で工場見学を行っています。馴染みのない部品を遊び道具に応用したり、イラストがたくさんある手書きの資料を独自に作成するなど、社員は児童に理解しやすい工夫をしています。

### 【あいさつ・概要説明 15分】

①自己紹介、仕事内容、趣味・特技等

### 【企業紹介】

- ②製品の紹介、機能、社会における役割、重要性、他地域への出荷がある場合はその広がりにつながり
- ③製品への思い、安全への配慮(5S、危険予知など)、品質管理(品質にバラつきが出ないようにするための工夫)、効率性(無駄が出ない工夫、短時間で安く製品を作る工夫)、環境への配慮等

### 【見学の流れ・ポイント】

- ④作業工程の説明
- ⑤工場の中でのルール

### 【見学 10分~20分】

- ・③と④の項目を確認しながら見学
- ・工場の広さに応じて、前半、後半に分けて行うなど工夫

### 【振り返り 10分】

- ・見学の感想
- ・③と④の内容が実際どうだったか等、確認の質問
- ・その他質疑応答
- ・児童へのメッセージ

※工場見学における安全管理について※

安全に説明や見学ができるスペースがない場合は、小人数のグループに分けて実施できないか検討してください。児童にとって、遠巻きからでも工場の音や職場の雰囲気を感じながら、製品を作っている大人の姿に触れることは大きな学び(刺激)となります。

### 地域全体で取り組む

## アントレ・キッズ<sup>※</sup> ~お仕事探検隊~

地元企業の経営者や社員が学校等に出向き、地域の仕事を伝える取り組みがあります。仕事のやりがい、社会の厳しさを伝えることで、児童は様々な発見をし、夢を広げます。

また、児童は地域の仕事を知り、地域を愛する心が芽生えます。児童と、その保護者も巻き込んだこの取り組みは、人材流出に悩む地元企業や、地域で買い物をしてほしい地元商店街にとって価値ある活動となっています。

自動車部品の販売を行う企業では、「注文されたものを正確に届けること」を念頭に「受注・部品検査・出荷・配達」の体験活動を盛り込んだ授業を行っています。図や写真、パネルを多く使うなど、児童の興味を引く工夫をしています。普段の業務で使用

している部品等は社員にとっては当たり前のものですが、児童にとっては、目新しいものばかりです。

始めは「うちの会社でできるのだろうか」と戸惑っていた社員も、児童の真剣なまなざしの中で、働く意義を語るうちに、自分の仕事への誇りを持つことができます。

この活動をきっかけに、取り組みを進めた中小企業もあり、活動が地域に広がっています。



### 【プログラム例】

#### 開会式

あいさつ、主旨説明、仕事の説明など

#### 「お仕事探検」開始

児童は仕事を探検しに行く。

#### クイズの回答発表

探検中に出されたクイズの答え合わせ

#### 閉会式

簡単に1日を振り返り児童の感想を聞く。

※アントレ・キッズとは・・・福井商工会議所青年部が職業体験する機会を提供し、仕事の厳しさ、働くことの素晴らしさ、面白さを伝える魂の授業。このような取り組みが各地域で広がっています。 <http://www.fcci.or.jp/fyeg/entkids/>